



# 原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和8年

1月13日（火）

印西市立原小学校

校長室便り No 10

## 2026年 令和8年スタート



寒く雨降る中の登校



各学級で係活動の分担決め



地震後の火災を想定した避難訓練

3学期が始まりました。学年のまとめをすると同時に、次の学年への準備をする大事な時期となります。昔から1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といわれ、時間はあっという間に過ぎていきます。今の学年の学習とふさわしい生活習慣を身に付けること。自分や他の人を大切にする。そして児童が自信をもって次の学年に進級・進学できるようにしていきたいと思ひます。

2026年、子どもたちの笑顔がさらに輝くように、そして原小学校がさらに良い学校となるように、職員一同全力で取り組んでまいります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

## 子どもたちが安心して過ごせる学校であるために

お子様一人一人の「尊厳」と「人権」を守ることを最優先に考えています。

昨今、教育現場における適切な距離感が問われております。大人が良かれと思って頭を撫でたり、肩を抱いたりすることでも、受け取る側の子どもによっては苦痛や戸惑いを感じる場合があります。

本校では、指導の際にお子様の身体に不必要に触れないことを教職員間で共通理解しております。言葉による励ましや、温かい見守りを通して、心の絆を深めてまいります。

「原則として触れない」という方針ですが、以下のような場合には、適切に対応いたします。

- ・ 「安全確保」 転倒しそうな時、飛び出しを止める時など、生命の危険がある場合
- ・ 「応急手当」 けがや急病への処置を行う場合
- ・ 「合理的配慮」 保護者と合意形成し教育活動上不可欠な場合

お子様の様子で気になることや、学校の対応に不安を感じられた際は、遠慮なく学校までご相談ください。